

報告日 令和7年11月11日

報告回次 1日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	海士町			代表者名	町長 大江和彦
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	いわがき春香特命担当	連絡先電話番号	08514-2-1832
担当者役職	課長	担当者氏名	木村克彦	連絡先E-mail	
住所	684-0403 島根県海士町海士4966-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	ELTRES IoTネットワーク水質監視事業		
概要	海士町主体で養殖岩牡蠣を生産・販売しています。これまで養殖海域の水温、クロロフィルaなどをsimカードを使って1時間に1回データ送信して出荷時期の見極めや、養殖海域状況の確認をスマホでしてきました。和田先生の新たな取り組みでsimカードからSONYのELTRESに変更していただく指導をお願いしたいので海士町までご足労を願いたい。				
支援を求める分野	プロジェクトマネジメント支援 農林水産業				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月6日	支援・助言(実地)	13時30分	17時30分	
				活動時間（分）	240

2-2.

派遣場所	会場名	保々見いわがき作業保管施設	最寄駅	無し
	所在地	島根県隠岐郡海士町知々井1003-3	最寄駅からの交通手段	海士町が全ての送迎します。

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	和田 雅昭
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	「いわがき養殖」においては生産管理が非常に重要で生産物の歩留、そして結果所得に大きくかかわってくる。それは数値実績にも表れており十分に活用していない生産者は歩留が15%から40%に対して活用している生産者は112%から178%という出荷実績に繋がっている。今回改めて和田先生にご教授頂き生産者の意識改革ができたものと考えています。漁師は一攫千金の考えの方が多く、農業のような生産管理が苦手であるが養殖業には農業と同様に生産管理が必要であると生産者も意識できたものと考えます。
アドバイザーへの要望事項	生産工程、生産管理をシステム化して生産者の管理労力を軽減したいと考えています。このシステムを構築して生産者ができるだけ生産に集中できる環境を整え歩留と所得の向上に結びつけることで若い担い手が一次産業に魅力を感じるように行政として進めていきたいので引き続き和田先生の力を借りたいと考えています。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	10人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	1	8	1	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	平成28年度に水質監視システムを導入したが理解が不足しており十分に活用している人が少なく「いわがき」の歩留、所得減少に大きく響いてきた。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	歩留改善による計画的で安定した出荷を目指す。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	保々見港において、いわがきの生産工程、出荷行程で指標にする水質のうち、水温とクロロフィルaのリアルタイム観測について、実機を使いながら海士町での導入に向けて準備を進めていただいた。また、他県や海外での養殖業におけるスマート化の取り組みについて紹介を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	年度内を目標に進めているLPWAを用いたいわがき春香の育成海域における水質のリアルタイム観測について、早期に運用開始する目途がついた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	水質監視やGPSを利用したデータを基に生産管理システムを作成していくことが課題である。具体的には作業履歴、数量管理、次の生産工程などが一目で理解できるように生産者の意見を取り入れながら和田先生に指導していただくシステムを構築していきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E LやP D Fでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 未実施	
4ー3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	水質監視等のデータを生産者が今後の養殖作業において十分活用するとともに、自分たちが使いやすいように実際に養殖作業を行っている者同士でエクセル等によりベースをつくってみる。	
4ー4. 事業の最終的な目指す姿	システム構築により歩留と所得の向上はあくまで手段であり、最終の目標は一次産業担い手を増やすことである。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	☐ 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

